

今日のキーワード 安定成長を示唆する「ベージュブック」(米国)

「ベージュブック」は、米国に12ある地区連邦準備銀行（地区連銀）が、管轄地域の経済状況をまとめた「地区連銀経済報告」のことです。表紙のベージュ色が名前の由来であり、経済情勢についての総合判断、主要産業の動向や雇用・物価動向などがまとめられています。「ベージュブック」は、年に8回開催される連邦公開市場委員会（FOMC）の2週間前の水曜日に公表され、金融政策の判断材料として用いられます。

ポイント1

経済活動への評価は、前回と同様、「緩やかなペースで拡大」

将来の見通しも概ね良好

- 7月13日に公表された最新の「ベージュブック」は、「ほとんどの地区で経済活動は穏やかなペースでの拡大を維持している」と総括しました。6月1日に発表された前回報告とほぼ同じ評価です。先行きの見通しについても、概ね良好との評価でした。

ポイント2

労働市場は引き続き安定、個人消費は堅調に推移

物価上昇圧力は軽微

- 各論を見ると、まず労働市場は、雇用、賃金ともに緩やかな増勢を維持しました。特に、ITやバイオテクノロジーなど、高度な知識・技術を有する人材の確保は、依然として困難な状況が続いているようです。
- 物価上昇圧力は、引き続き軽微でした。原材料費や住宅価格に上昇は見られるものの、販売価格にはほとんど変化がありませんでした。
- 個人消費は、フィラデルフィア、リッチモンドなど一部の地区で伸び悩んだものの、概ね良好との評価でした。将来の見通しも、大半の地区で楽観的です。
- 建設・不動産は、商業用、住宅とも好調を持続、銀行の貸出需要も拡大が報告されました。他方、製造業は、地域や業種によって「まちまち」との評価でした。



今後の展開

物価安定の下での緩やかな景気拡大を維持

■ 7月利上げの可能性は低い

今回の「ベージュブック」は、米国経済の緩やかな成長と物価の安定を示唆する内容でした。7月26日、27日に開催される次回FOMCで、利上げが実施される可能性は低いと考えられます。

■ 株価の上昇を支援

米国株式市場では、今年7月12日にニューヨーク・ダウが史上最高値を更新しました。今後も、物価安定の下での緩やかな景気拡大、企業収益の改善などを支えに、株価は堅調な推移が見込まれます。

ここも チェック!

2016年7月13日 米国の株式市場 (2016年7月)
2016年7月11日 米国の雇用統計 (2016年6月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。